

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年5月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	腎筋膜に相当する胸部下行大動脈前筋膜を解剖指標とした胸管温存中下縦隔郭清 [倫理審査受付番号：第 5316 号]
研究責任者氏名	篠原 尚
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2026年3月24日 ～ 2027年12月31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：胸部食道癌/ 診療科名等：上部消化管外科
	受診日：西暦 2020年1月1日～2025年9月30日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他（手術時の手技動画）
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	食道癌の手術時には、食道だけでなく食道周囲の脂肪やリンパ節を含む「食道間膜」ごと切除することが根治性・安全性の面から重要です。この「食道間膜」の表面は、胸部下行大動脈前筋膜(Anterior thoracic aortic fascia, 以下 ATAF)という膜で覆われていると考えられていますが、詳細は明らかではありません。本研究では食道癌切除において ATAF が指標になるかどうかを検討します。これにより手術中の指標が明らかになれば、安全性・根治性が向上し、患者様の利益に寄与する可能性があります。
研究の方法	2020年1月1日～2025年9月30日に胸部食道癌に対して ATAF を認識しながら胸管温存鏡視下食道切除を施行した 103 名の患者様を対象としています。対象患者様の年齢、性別、術前病理診断、術前化学療法施行の有無、病変の部位、臨床病期の情報を電子カルテから収集します。また、病院のサーバーに保存されている手術動画を見直し、ATAF を視認できた率や ATAF に沿ったリンパ節郭清が出来た率、温存すべき胸管を温存できた率、血管を正確に切離した率を調査します。

個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。参加拒否をご希望される場合は、2026年5月31日に行う個人情報の加工までにお申し出ください。期日までにお申し出いただいた場合は研究の対象から除外させていただきます。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：兵庫医科大学 上部消化管外科 担当者氏名：倉橋康典 [電話]（平日 8:30～16:45）0798-45-6725 （上記時間以外）0798-45-6111